

CITATION: Kavanagh J, Kelly AJ, Thomas J. *Cochrane Database of Systematic Reviews* Cochrane Pregnancy and Childbirth Group, Issue 2. Art. No.: CD003093. DOI: 10.1002/14651858.CD003093
CRG名: Cochrane Pregnancy and Childbirth Group

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 29 June 2007
Clib issue No.; N/U: 2001 Issue 2; New

アブストラクト

背景: 子宮頸管熟化および分娩誘発におけるプロスタグランジンの役割は広範に検討されてきた。ヒト精液は、プロスタグランジンを最高濃度で含有するとされている生物学的供給源である。分娩開始における性交の役割は不確かなものである。分娩を刺激する性交の作用は不確かだが、その一部は、子宮下部の物理的刺激、オルガズムの結果として生じる内在性オキシトシンの放出、または精液中のプロスタグランジンの直接作用によるものと考えられる。また、乳頭刺激も分娩開始プロセスの一部と考えられる。

本レビューは、標準化された子宮頸管熟化および分娩誘発法に関する一連のレビューの一環として行われたものである。

目的: 妊娠第3三半期の子宮頸管熟化または分娩誘発での効果を、性交とその他の分娩誘発法との間で比較評価すること。

検索戦略: Cochrane Pregnancy and Childbirth Group's Trials Register (2007年6月) および関連論文の文献。

選択基準: 妊娠第3三半期の子宮頸管熟化または分娩誘発において、性交とプラセボ/無治療、またはあらかじめ規定した分娩誘発法リスト中の上述したその他の方法とを比較した臨床試験。

データ収集と分析: 分娩誘発に関する大量かつ複雑な試験データに対処するため、データ抽出を2段階に分けるなどの方法をとった。

主な結果: 非常に限定的なデータのみが報告された28例を対象にした1件の研究を選択したが、同研究からは、意義のある結論を導き出すことはできない。

レビューアの結論: 分娩誘発法としての性交の役割は不確かだが、妊婦とそのパートナーにとっては重要な関心事である。性交が分娩開始に与える影響を評価するための、適切なデザインのランダム化比較試験が求められる。分娩誘発法としての性交を評価する今後の試験は、基準アウトカムの临床上重大な差を検出するのに十分な検出力を有するようにならなければならない。

平易な要約(Plain language summary)

子宮頸管熟化および分娩誘発における性交

分娩誘発法としての性交の果たす役割は不確かなものです。

翻訳公開日:2015年 1月 27日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。